

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18001	1	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	心理学 (Psychology)				
担当教員名	長澤 里絵				
授業の概要及び到達目標					
<p>人間の心は、臓器や筋肉のように具体的に観察したり、直接的に触れて治療したりすることはできないが、人間の身体や行動と密接に結びついている。心理学とは、心のはたらきを明らかにする学問であり、調査や実験のデータに基づいて、人間の情報処理のメカニズムや行動パターンなどを科学的に分析するものである。</p> <p>本講義では、医療・看護の現場への応用も視野に入れながら、知覚、認知、発達、人格、社会といった心理学の基礎を理解することを到達目標とする講義科目である。</p>					
準備学習等					
<p>第1回はこの講義のガイダンスを行ない、「心理学とは何か」について考える。 そのため、予習は特に必要ない。</p> <p>第2回：第1章「心理学とは」 第3回：第2章「感覚と知覚」 第4回：第3章「記憶」 第5回：第4章「思考・言語・知能」 A. 思考 B. 言語とコミュニケーション 第6回：第4章「思考・言語・知能」 C. 知能 第7回：第5章「学習」 第8回：第6章「感情と動機づけ」 第9回：第7章「性格とパーソナリティ」 第10回：第8章「社会と集団」 第11回：第9章「発達」 A. 発達とは B. 乳幼児の発達 第12回：第9章「発達」 C. 児童・青年の発達 D. 成人・高齢者の発達 第13回：第10章「心理臨床」 A. 心理臨床と臨床心理学 B. 心の適応と不適応 第14回：第10章「心理臨床」 C. 心理療法 第15回：第11章「医療・看護と心理」を、それぞれ授業前に熟読しておくこと。 この科目では、60時間以上の授業外学修（予習・復習）を行うこと。</p>					
成績評価の方法	定期試験 100%。ただし授業に積極的に取り組む姿勢も加味します。				
テキスト	「基礎分野心理学」山村 豊：医学書院（978-4-260-02768-7）				

備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問等は授業終了後に受け付けます。 ・ 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。
授 業 計 画	
<p>第 1 回：ガイダンス</p> <p>第 2 回：心理学とは：心理学の歴史、心理学の研究方法</p> <p>第 3 回：感覚と知覚：認知決定の主要 3 要素、錯視</p> <p>第 4 回：記憶：記憶のメカニズム、忘却、記憶の工夫、加齢と記憶</p> <p>第 5 回：思考・言語・知能（1）：思考とは、問題解決、言語とコミュニケーション</p> <p>第 6 回：思考・言語・知能（2）：知能とは、知能検査</p> <p>第 7 回：学習：学習のメカニズム、古典的条件づけ、オペラント条件づけ、社会的学習と効果的な学習方法</p> <p>第 8 回：感情と動機づけ：感情の諸相、感情のメカニズム、動機づけ</p> <p>第 9 回：性格とパーソナリティ：類型論と特性論、性格検査</p> <p>第 10 回：社会と集団：集団とリーダーシップ、群集心理、対人知覚</p> <p>第 11 回：発達（1）：発達とは、乳幼児の発達</p> <p>第 12 回：発達（2）：児童・青年の発達、高齢者の心理</p> <p>第 13 回：心理臨床（1）：心の適応と不適応、ストレス・葛藤と環境適応</p> <p>第 14 回：心理臨床（2）：心理療法、心理療法とカウンセリング</p> <p>第 15 回：医療・看護と心理：患者の心理、医療現場における心理学の役割 まとめ</p> <p>※授業の進捗度・理解度等により変更する場合もある。</p>	